

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA

### ゴール15 陸の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさ  
守ろう



人間を含む地球上の全ての生き物は、山や森林などの自然の中で、食物連鎖や共生など多様な関わり合いを持ちながら生きています。これを「生物多様性」といいます。生き物や自然はそ

れぞれに役割を持ち、バランスを保ちながら共存しているのです。

しかし、私たちの豊かな暮らしのために、無計画な森林伐採や都市化が進み、生物多様性を守る自然が破壊されています。それにより、行き場を失った多くの生き物が絶滅の危機にさらされており、約4万種もの野生生物がレッドリスト（絶滅危惧種）として指定されています。時に1つの種の絶滅が、自然界のバランスを崩し、人々の生活に大きな影響を及ぼすこともあります。継続的に豊かな自然と共存していくためには、森を守り、再生していく必要があります。

#### 私たちにできること

- 学校や地域団体が実施している植林活動などに参加する。
- 「FSC 認証」を受けた製品を買う。

#### FSC 認証とは？

「Forest Stewardship Council（森林管理協議会）」という国際機関が行う森林認証制度で、森林環境に配慮し、持続可能な生産方法で作られた木材・製品に与えられるものです。

木のおもちゃやインテリアといった木製品はもちろん、ジュースの紙パックや洋服のタグなどにも FSC 認証マークがついています。



※森林管理協議会は国際的な森林管理の認証を行う協議会で、1993年にカナダで創設された NGO です。生産を行う森林や製品、流通過程の評価、認定、監督を行っています。

#### 苅田町の取り組み

苅田町は、山国川（福岡県と大分県の県境付近を流れる川）流域の自然がもたらす豊潤な水の恩恵を受ける関係市町と連携し、毎年1回、「耶馬の森林」育樹活動に取り組んでいます。

昨年度は、耶馬溪ダム湖畔において、ヤマモミジ（山紅葉）やブンゴウメ（豊後梅）の植樹や芝桜の植え付けを行いました。

今後も「耶馬の森林」を育み、森林資源を継続的に保全するため、流域市町で一体となり、活動を続けていきます。

#### SDGs TOPICs

#### 役場の若手職員で SDGs 研修

苅田町では、2030年 SDGs 達成に向けた取り組みの一環として、町の若手職員を対象に、カードゲーム「2030 SDGs」を活用した SDGs 研修を開催しました。

今後も各職員が SDGs の本質を理解し、その視点を町政の発展に活かす取り組みを進めていきます。

